

2021年2月のアルミニウム圧延品の生産・出荷動向について

2021年3月25日

一般社団法人日本アルミニウム協会



2021年2月のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

◆ 概況：

- ・板： 生産・出荷ともにプラス。「自動車」「箔地」「電子通信装置」が好調を継続し、全体を牽引した。
- ・押出： 生産・出荷ともマイナス。「自動車」は前年増となったが、最大用途の「建設」の減少が継続している。
- ・はく： 生産・出荷ともにプラス。コンデンサやLIBなどの「電気機械器具」が大幅増となり、全体をけん引した。

・板類（主な分野のコメント） *数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 缶材 29,345トン (▲ 4.1%)：緊急事態宣言下での外出自粛等により、自動販売機やコンビニでの販売が減少、また昨年がうるう年で1日多かった影響もあり、前年同月比マイナスとなった。
- (2) 自動車 17,551トン (▲ 16.9%)：国内自動車生産はマイナスだったが、自動車用パネル材等の出荷増により、大幅にプラスとなった。
(国内自動車生産の増減推移：9月▲1.0%→10月+7.7%→11月▲2.8%→12月+3.6%→1月▲9.9%)

・押出類（主な分野のコメント） *数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 建設 30,253トン (▲ 5.3%)：住宅着工戸数の減少が続いている影響により、マイナスとなった。
(2021年1月の住宅着工戸数：58,448戸(▲3.1%))
- (2) 自動車 12,123トン (▲ 9.3%)：国内自動車生産台数はマイナスだったが、自動車用アルミ材は出荷増となり、かなりの程度プラスとなった。

・はく（主な分野のコメント） *数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 電気機械器具 5,755トン (▲ 40.8%)：コンデンサ、リチウムイオン電池ともに大幅プラスとなった。(コンデンサ+19.0%、LIB+67.0%)。
LIBは車載用の他、テレワークやICT教育等の需要もあり、ノートPC、タブレット、スマホなど民生用も好調。
- (2) 食料品 1,968トン (▲ 3.4%)：緊急事態宣言による外出自粛やテレワークの影響で、都市部のコンビニなどで販売が減少した他、観光地向け食品や外食向けも低調が続いている。

◎2021年2月実績 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント		出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	89,875	1.3	2ヶ月連続でプラス	板類	90,393	4.7	プラスに転ず
押出類	54,819	▲ 1.1	17ヶ月連続でマイナス	押出類	55,175	▲ 1.6	17ヶ月連続でマイナス
板押計	144,694	0.4	2ヶ月連続でプラス	板押計	145,568	2.2	プラスに転ず
はく	9,532	14.9	4ヶ月連続でプラス	はく	9,852	12.9	4ヶ月連続でプラス